

東広島市教育委員会  
令和元年度管理職研修（校長部会）

# 国・県における 生涯学習・社会教育の施策の動向

広島県教育委員会  
広島県立生涯学習センター

# 本日の流れ

- 1 生涯学習とは
- 2 我が国が直面する未来
- 3 生涯学習を取り巻く新たな方向性
- 4 学校と地域の連携協働の推進について
- 5 家庭教育の支援について

# 生涯学習とは

教育基本法（平成18年法律第120号）

## 第3条 生涯学習の理念

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現

▶ 人が生涯にわたって学ぶこと、乳幼児期から高齢期まで、生涯のあらゆる時期に行われる学習活動

# 生涯学習と学校教育

## 生涯学習

## 教育

3つの教育領域  
(教育基本法)

学校・家庭・地域の  
連携協力 (第13条)

家庭教育  
(第10条)

学校教育  
(第6条)

社会教育  
(第12条)

スポーツ・文化・ボランティア・レクリエーション活動等における学習  
読書等の自主学習

# 生涯学習と学校教育

## 生涯学習

乳幼 小 中 高・・・青年 成人 高齢者

学び続ける

- ▶ 生涯学習は、学校教育の基盤の上に 生涯を通じて行われる
- ▶ 学校教育（特に小・中学校段階）は、生涯にわたる学習を行うために必要な基本的な資質・能力を養ううえで重要な役割を担う

# 本日の流れ

- 1 生涯学習とは
- 2 我が国が直面する未来
- 3 生涯学習を取り巻く新たな方向性
- 4 学校と地域の連携協働の推進について
- 5 家庭教育の支援について

# 我が国が直面する未来

## — 3つの未来予測 —

2007年生まれの  
子供の約半分が  
到達する年齢

▶ 107 歳

50年後の  
生産年齢人口

▶ 現在の約50%に

10~20年後にAIや  
ロボットに代替され  
る確率が高い職業

▶ 現存の約49%に

# 我が国が直面する未来

## 【Society5.0とは】 ～新しい社会「Society5.0」～

狩猟社会，農耕社会，工業社会，情報社会に続く，新たな社会を指すもので，第5期科学技術基本計画において，我が国が目指すべき未来社会の姿として 初めて提唱された。





# Society 5.0 における学校の学び

- ▶ **人間としての強み（現実世界を理解し状況に応じて意味付け、倫理観、板挟みや想定外と向き合う力、責任を持って遂行する力など）**
- ▶ 共通して求められるのは、文章や情報を正確に読み解き対話する力、科学的に思考・吟味し活用する力、価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探求力など

このような技術の発達（教育用AIの発達・普及）等を背景として、Society 5.0 における学校は、一斉一律の授業スタイルの限界から抜け出し、読解力等の基盤的学力を確実に習得させつつ、個人の進度や能力、関心に応じた学びの場となることが可能となる。また、同一学年での学習に加えて、学習履歴や学習到達度、学習課題に応じた異年齢・異学年集団での協働学習も広げていくことができるだろう。

さらに、学校の教室での学習のみならず、大学、研究機関、企業、NPO、教育文化スポーツ施設、農山村の豊かな自然環境などの地域の様々な教育資源や社会関係資本を活用して、いつでも、どこでも学ぶことができるようになると予想される。

# 我が国が直面する未来

- ▶ 人口減少・高齢化
  - ▶ 人生100年時代
  - ▶ 技術革新の進展
- 超スマート社会 (Society5.0)**

変化が激しく予測困難な未来が到来



**「生涯にわたって主体的に学び続ける力」が必要**

**未来を担う子供たちを育てるためには？**

# 本日の流れ

**1 生涯学習とは**

**2 我が国が直面する未来**

**3 生涯学習を取り巻く新たな方向性**

- ▶ **第3期教育振興基本計画（国）**
- ▶ **広島県教育委員会主要施策実施方針**
- ▶ **広島版「学びの変革」アクション・プラン**

## 第1部 我が国における今後の教育政策の方向性

### I 教育の普遍的な使命

改正教育基本法に規定する教育の目的である「人格の完成」、「平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成」と、教育の目標を達成すべく、「教育立国」の実現に向け更なる取組が必要

### II 教育をめぐる現状と課題

#### 1 これまでの取組の成果

- 初等中等教育段階における世界トップレベルの学力の維持
- 給付型奨学金制度、所得連動返還型奨学金制度の創設
- 学校施設の耐震化の進展 等

#### 2 社会の現状や2030年以降の変化等を踏まえ、取り組むべき課題

- (1) 社会状況の変化  
人口減少・高齢化、技術革新、グローバル化、子供の貧困、地域間格差 等
- (2) 教育をめぐる状況変化  
○子供や若者の学習・生活面の課題      ○地域や家庭の状況変化  
○教師の負担      ○高等教育の質保証等の課題
- (3) 教育をめぐる国際的な政策の動向  
OECDによる教育政策レビュー 等

### III 2030年以降の社会を展望した教育政策の重点事項

第2期計画の「自立」「協働」「創造」の方向性を継承し、以下の姿を目指す

#### 《個人と社会の目指すべき姿》

- (個人) 自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材の育成
- (社会) 一人一人が活躍し、豊かで安心して暮らせる社会の実現、社会(地域・国・世界)の持続的な成長・発展

#### 《教育政策の重点事項》

- 「超スマート社会(Society 5.0)」の実現に向けた技術革新が進展するなか「人生100年時代」を豊かに生きていくためには、「人づくり革命」、「生産性革命」の一環として、若年期の教育、生涯にわたる学習や能力向上が必要
- 教育を通じて生涯にわたる一人一人の「可能性」と「チャンス」を最大化することを今後の教育政策の中心に据えて取り組む

### IV 今後の教育政策に関する基本的な方針

- 1 夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する
- 2 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する
- 3 生涯学び、活躍できる環境を整える
- 4 誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する
- 5 教育政策推進のための基盤を整備する

### V 今後の教育政策の遂行に当たって特に留意すべき視点

#### 1. 客観的な根拠を重視した教育政策の推進

- ・ 教育政策においてPDCAサイクルを確立し、十分に機能させることが必要  
企画・立案段階：政策目標、施策を総合的・体系的に示す[ロジックモデルの活用、指標設定]  
実施段階：毎年、各施策のフォローアップ等を踏まえ着実に実施  
[職員の育成、先進事例の共有]  
評価・改善段階：政策評価との連携、評価結果を踏まえた施策・次期計画の改善
- ・ 客観的な根拠に基づく政策立案(EBPM(Evidence-Based Policy Making))を推進する体制を文部科学省に構築、多様な分野の研究者との連携強化、データの一元化、提供体制等の改革を推進

#### 2. 教育投資の在り方(第3期計画期間における教育投資の方向)

- ・ 人材への投資の抜本的な拡充を行うため、「新しい経済政策パッケージ」等を着実に実施し、教育費負担を軽減
- ・ 各教育段階における教育の質の向上のための教育投資の確保  
◇学校指導体制・指導環境整備、チーム学校      ◇学校施設の安全性確保(防災・老朽化対策)  
◇大学改革の徹底・教育研究の質的向上      ◇社会人のリカレント教育の環境整備  
◇若手研究者安定的雇用、博士課程学生支援      ◇大学施設の改修      など
- ・ OECD諸国など諸外国における公財政支出など教育投資の状況を参考とし、必要な予算を財源措置し、真に必要な教育投資を確保
- ・ その際、客観的な根拠に基づくPDCAサイクルを徹底し、国民の理解を醸成

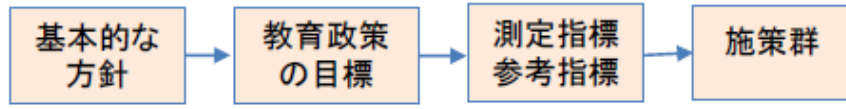
#### 3. 新時代の到来を見据えた次世代の教育の創造

- ・ 超スマート社会(Society 5.0)の実現など、社会構造の急速な変革が見込まれる中、次世代の学校の在り方など、未来志向の研究開発を不断に推進
- ・ 人口減少・高齢化などの、地域課題の解決に向け、「持続可能な社会教育システム」の構築に向けた新たな政策を展開
- ・ 次世代の教育の創造に向けた研究開発と先導的な取組を推進



# 第2部 今後5年間の教育政策の目標と施策群

第1部で示した5つの基本的な方針ごとに、  
 ①教育政策の目標  
 ②目標の進捗状況を把握するための測定指標及び参考指標  
 ③目標を実現するために必要となる施策群を整理



基本的な方針	教育政策の目標	測定指標・参考指標(例)	施策群(例)
1 夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する	(1) 確かな学力の育成<主として初等中等教育段階> (2) 豊かな心の育成<〃> (3) 健やかな体の育成<〃> (4) 問題発見・解決能力の修得<主として高等教育段階> (5) 社会的・職業的自立に向けた能力・態度の育成<生涯の各段階> (6) 家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進<〃>	○知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等の資質・能力の調和のとれた個人を育成し、OECDのPISA調査等の各種国際調査を通じて世界トップレベルを維持 ○自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善 ○いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善 など	○新学習指導要領の着実な実施等 ○子供たちの自己肯定感・自己有用感の育成 ○いじめ等への対応の徹底、人権教育 など
2 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する	(7) グローバルに活躍する人材の育成 (8) 大学院教育の改革等を通じたイノベーションを牽引する人材の育成 (9) スポーツ・文化等多様な分野の人材の育成	○外国人留学生数30万人を引き続き目指していくとともに、外国人留学生の日本国内での就職率を5割とする ○修士課程修了者の博士課程への進学率の増加 など	○日本人生徒・学生の海外留学支援 ○大学院教育改革の推進 など
3 生涯学び、活躍できる環境を整える	(10) 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進 (11) 人々の暮らしの向上と社会の持続的な発展のための学びの推進 (12) 職業に必要な知識やスキルを生涯を通じて身に付けるための社会人の学び直しの推進 (13) 障害者の生涯学習の推進	○これまでの学習を通じて身に付けた知識・技能や経験を地域や社会での活動に生かしている者の割合の向上 ○大学・専門学校等での社会人受講者数を100万人にする など	○新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策の検討 ○社会人が働きながら学べる環境の整備 など
4 誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する	(14) 家庭の経済状況や地理的条件への対応 (15) 多様なニーズに対応した教育機会の提供 (16) 新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導体制の整備等 (17) ICT利活用のための基盤の整備	○生活保護世帯に属する子供、ひとり親家庭の子供、児童養護施設の子供の高等学校等進学率、大学等進学率の改善 など ○小中学校の教諭の1週間当たりの学内総勤務時間の短縮 ○学習者用コンピュータを3クラスに1クラス分程度整備 ○緊急的に老朽化対策が必要な公立小中学校施設の未改修面積の計画的な縮減 ○私立学校の耐震化等の推進(早期の耐震化、天井等落下防止対策の完了) ○学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善 など	○教育へのアクセスの向上、教育費負担の軽減に向けた経済的支援 など ○教職員指導体制・指導環境の整備 ○学校のICT環境整備の促進 ○安全・安心で質の高い学校施設等の整備の推進 ○学校安全の推進 など
5 教育政策推進のための基盤を整備する	(18) 安全・安心で質の高い教育研究環境の整備 (19) 児童生徒等の安全の確保 (20) 教育研究の基盤強化に向けた高等教育のシステム改革 (21) 日本型教育の海外展開と我が国の教育の国際化	○学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の発生件数の改善 など	○学校安全の推進 など

# ▶ 広島版「学びの変革」アクション・プラン H26.12

“変化の激しい社会を生き抜くことのできる資質・能力（学び続ける力）の育成”

## ▶ 広島県 教育に関する大綱 H28.2

## ▶ 県教育委員会 主要施策実施方針 H29.2



# “広島で学んで良かったと思える日本一の教育県の実現”

- ▶ 幼児期から大学・社会人まで
- ▶ オール広島県
- ▶ 広島らしさ

- 生涯にわたって学び続けるための環境づくり
- 生涯学習・社会教育を進める環境づくり
- 現代的・社会的な課題に対応した学習の推進
- 地域の学びを支える人材の育成
- 学校・家庭・地域が連携した教育の推進
- 家庭教育への支援 …

成果指標	内容	H28基準値	H30実績	H32目標値
社会や地域の課題解決に関する講座の割合	公民館等における全講座のうち、社会や地域の課題解決に関する講座の割合	60.3% (H27実績)	↘59.8%	65%
放課後子供教室への大学生ボランティアの派遣件数	放課後等の子供の居場所づくりや体験活動の充実のため、大学生ボランティアを派遣した件数	194件 (H27実績)	↗198件	200件
「『親の力』をまなびあう学習プログラム」の受講者の満足度	「『親の力』をまなびあう学習プログラム」を受講した保護者等の不安が軽減したと回答した割合	86.4% (H27実績)	↘85.6%	90%

# 広島版「学びの変革」アクション・プラン

- コンピテンシーの育成を目指した主体的な学びの充実 -

## <背景>

- グローバル化の進展などにより、あらゆる資源が国境を越えて行き交い、社会経済システムから一人一人の日常生活に至る広範な分野に影響（◆様々な課題がますます変化・複雑化・高度化する先行き不透明な社会へ ◆グローバル化の進展は、都市部のみならず、中山間地域を含め、広島県全体の経済や生活に影響）
- 一方で、少子化の影響により、広島県の成長・発展を支える人材の数が減少

グローバル化の進展や生産年齢人口が減少していく中で、「ピンチ」を「チャンス」に変えていくためには、「地域の成長・発展を支える人材」から「世界を舞台に活躍する人材」まで、厚みのある人材層の形成が不可欠

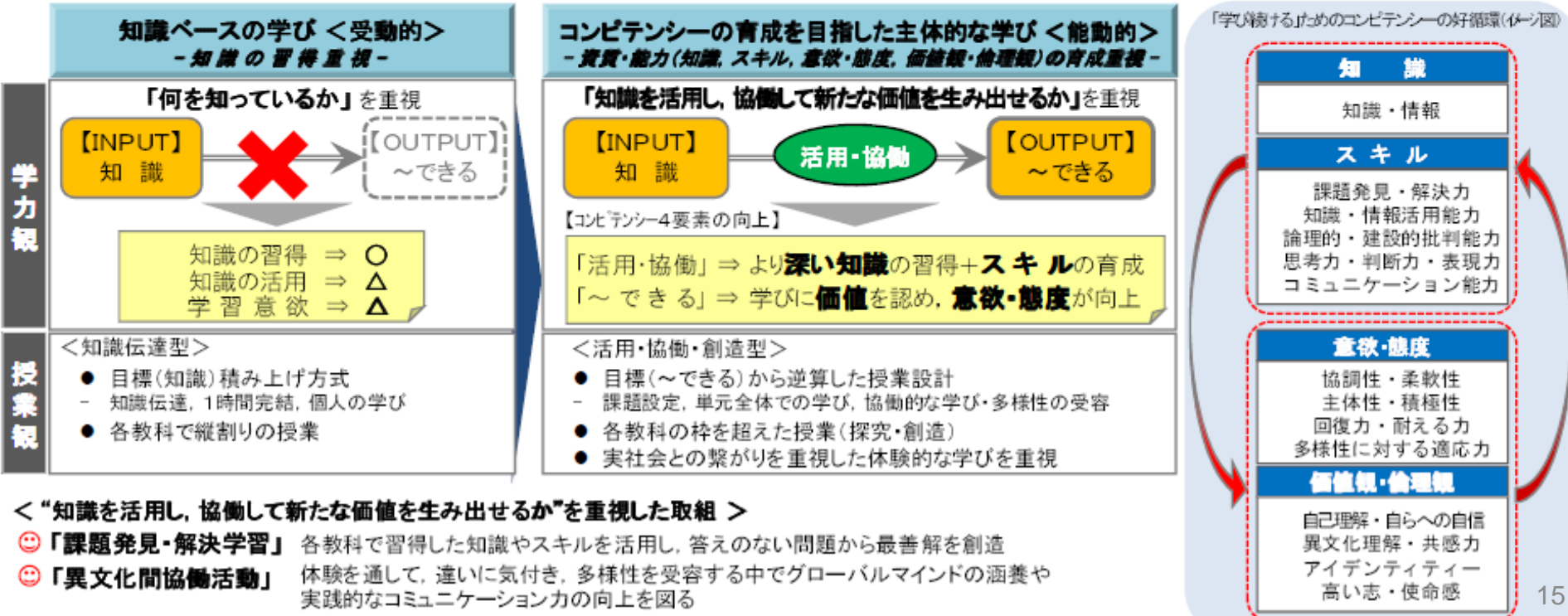
## <育成すべき人材像>

広島で学んだことに誇りを持ち、胸を張って「広島」、「日本」を語り、高い志のもと、世界の人々と協働して新たな価値(イノベーション)を生み出すことのできる人材



**“変化の激しい社会を生き抜くことのできる資質・能力（学び続ける力）”の育成が必要**

## <これからの新しい教育の方向性—学びの変革—>



# 本日の流れ

- 1 生涯学習とは
- 2 我が国が直面する未来
- 3 生涯学習を取り巻く新たな方向性
- 4 学校と地域の連携協働の推進について
- 5 家庭教育の支援について



# 学校と地域の連携・協働 - 背景 -

## 社会的背景

地域の人間関係の希薄化

地域における地縁的なつながりの希薄化

少子化・核家族化・都市化・情報化等の経済社会の変化

地域における教育力の低下

保護者の学校に対するニーズの多様化

生徒・児童指導に関わる課題の複雑化

特別支援教育等に関わる課題の複雑化・多様化

学校を取り巻く問題の複雑化・困難化

## 学校教育



## 「社会に開かれた教育課程」

- ①教育課程を介して目標を学校と社会が共有
- ②子供たちの育成すべき資質・能力を明確化
- ③地域の人的・物的資源の活用、社会と共有・連携しながら、開かれた学校教育を展開

地域



学校

## 連携・協働

- ・コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）
- ・地域学校協働活動

# 新学習指導要領の方向性

学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、  
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

## 社会に関かれた教育課程

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力  
を踏まえた教科・科目等の新設や  
目標・内容の見直し

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アク  
ティブ・ラーニング」）の視点からの  
学習過程の改善

# これからの教育課程の理念

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な教育内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを明確にしながら、社会との連携・協働によりその実現を図っていく。

## ＜社会に開かれた教育課程＞

- ① **社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を持ち、教育課程を介してその目標を社会と共有していくこと。**
- ② **これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に向き合い関わり合い、自分の人生を切り拓いていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化し育んでいくこと。**
- ③ **教育課程の実施に当たって、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させること。**

第10章 実施するために何が必要か - 学習指導要領等の理念を実現するために必要な方策 -

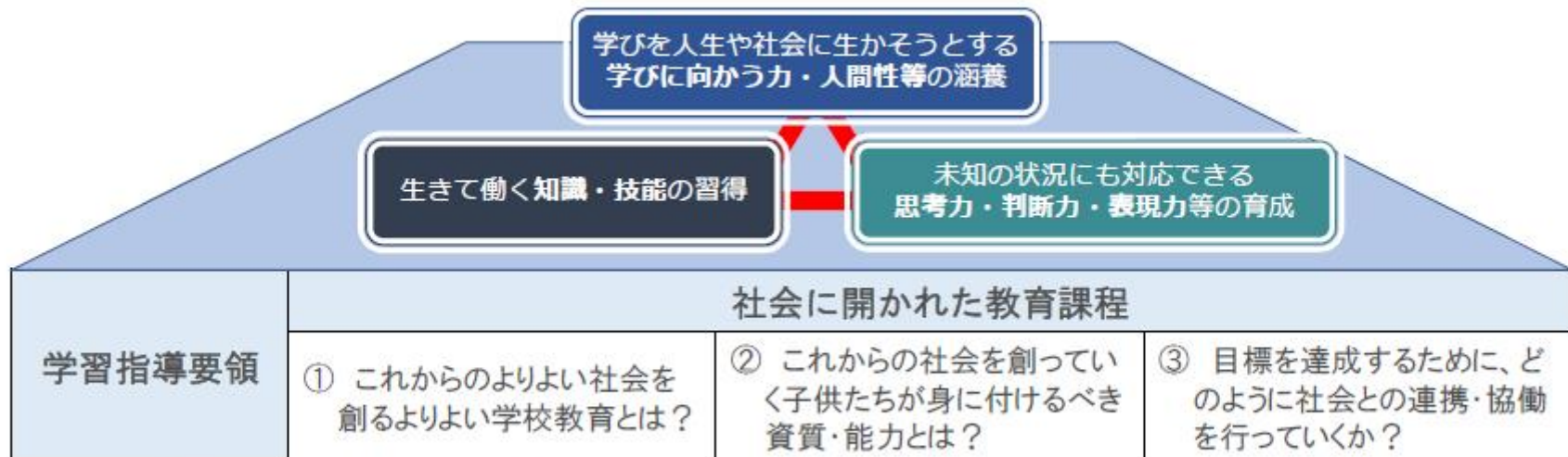
3. 社会との連携・協働を通じた学習指導要領等の実施

(家庭・地域との連携・協働)

- 学校がその目的を達成するためには、「社会に開かれた教育課程」の理念のもと、家庭や地域の人々とともに子供を育てていくという視点に立ち、地域と学校の連携・協働の下、幅広い地域住民等(多様な専門人材、高齢者、若者、PTA・青少年団体、企業・NPO等)とともに、地域全体で子供たちの成長を支え、地域を創生する活動(地域学校協働活動)を進めながら、学校内外を通じた子供の生活の充実と活性化を図ることが大切であり、学校、家庭、地域社会がそれぞれ本来の教育機能を発揮し、全体としてバランスのとれた教育が行われることが重要



# 「社会に開かれた教育課程」の実現と「学校と地域の連携・協働」



「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」をつなげる「社会に開かれた教育課程」



参考：地域学校協働活動推進のための地域コーディネーターと地域連携担当教職員の育成研修ハンドブック  
(文部科学省・国立教育政策研究所社会教育実践研究センター)



# 様々な地域学校協働活動

## 定義

「地域学校協働活動」とは、幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして、以下の様々な取組を組み合わせる実施する活動

### 学びによるまちづくり・ 地域課題解決型学習・郷土学習

- ◆地域資源を理解し、その魅力を伝えたり、地域活性化のための方策を考え、実行する学習活動
- ◆「ふるさと」について地域住民から学び、自ら地域について調べたり発表したりする学習活動
- ◆地域の産業や商店街の職場体験学習、郷土の伝統・文化芸能学習 など



### 放課後子供教室

- ◆地域住民の参画を得て、放課後等に全ての児童を対象として行う、学習や体験・交流といった多様な活動



### 地域未来塾

- ◆中学生・高校生等を対象に、教員OBや大学生などの地域住民の協力によって行う学習支援



### 家庭教育支援活動

- ◆寄り添いが必要な子供、不登校傾向のある子供等への対応について、保護者が学び合う機会づくり など



### 学校に対する多様な協力活動

- ◆登下校の見守り、花壇や通学路等の学校周辺環境の整備、子供たちへの本の読み聞かせ、授業の補助や部活動の支援 など



### 地域の行事、イベント、お祭り、 ボランティア活動等への参画

- ◆地域イベントにおけるボランティア体験学習、伝統行事やお祭りでの伝統文化・芸能の発表や楽器の演奏、地域の防災訓練への参画 など

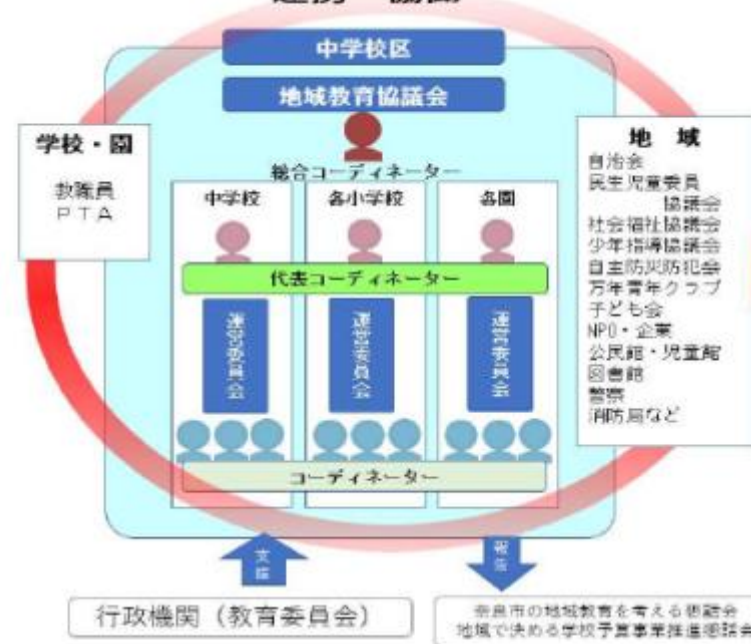




# 地域学校協働活動の取組事例①（地域課題解決学習）

奈良県奈良市富雄中学校学区地域教育協議会

## 連携・協働



### ◆活動概要・目的

- 市内全中学校学区（21 校区）に地域教育協議会（地域学校協働本部に該当）を設置
- 小中学生が地域資源を見直し、子供と地域の協働による学区ブランドづくり（小学生が栽培した古代米を使ったお団子の商品開発）を実施

### ◆活動における工夫・ポイント

- 地域コーディネーターが主体となって、商品化までの子供たちの活動をサポート
- 地域の連携・協働に参画したい小中学生が集まるボランティア部（コーディネーターが顧問）の発足
- 団子の他にワラを使ったしめ縄作り、団子を揚げた際の廃油を使ったエコ石けん作りにまで幅広く発展
- お団子の販路拡大に向けて、地域コーディネーターが地域企業に働きかけ、生徒たちがアイデアをプレゼン

### ◆活動の成果

- PTA、自治会、民生委員、社会福祉協議会など既存の子供の支援を行ってきた組織に合わせ、関連部署や企業・団体など地域に支援の輪が広がった。
- レストランメニューへの追加やコンビニでの販売も実現し、市長へのプレゼンにより給食にも採用。地域の行事やお祭り、イベント等でも販売。
- 子供たちの学びの支援はもちろん、企業や団体にとっても地域参画のきっかけ、学びの機会となっており、子供と育つ地域づくり（地域振興）が進んでいる。





# 地域学校協働活動の取組事例②（支援から連携・協働へ）

高知県南国市稲生地域学校協働本部

## ◆活動概要・目的

- 地域住民の心の拠り所である小学校を核として地域教育力の再構築を行うことを目的に開始。
- 平成 17 年から PTA 組織から PTCA 組織づくりを開始（通常の PTA に、C:地域を意味するコミュニティを追加）
- 平成 28 年から「学校支援地域本部」を「地域学校協働本部」とし、学校支援から地域支援に向けた取組を推進。



地域住民と子供たちでカッパのフィギュアを作成し、地域文化を継承

## ◆活動における工夫・ポイント

- 花育の推進（花を教材に生命や個性について子供に考えてもらう地域協力型の学校支援活動を展開）
- 食育の推進（ストーリーのある活動：「苗の植え付けから収穫、そして食する」全ての段階で地域と協働）
- 地域文化の継承（カッパ伝説）
- 公民館を舞台とした多世代参加型の地区の新たな祭りの創出
- 学校・地域の合同防災訓練の実施（授業参観日に実施）
- 高知大学地域協働学部と連携し、学生も活動に参画



玉ねぎ苗植え



玉ねぎ販売

## ◆活動の成果

- 平成 21 年には学校の玄関を綺麗にしようと、地域住民、保護者の協力で花壇に種をまくことから始まった「花育」の活動は、2016 年から蚕の里づくり事業として、地域全体に「花育の輪」が広がっている。
- 「食育」を通して PTCA を中心とする学校と地域との協働で学校行事がより地域とのふれあいを大切にしたものとなり、地域活性にもつながっている。



玉ねぎパーティ

# 地域学校協働活動の取組事例③（公民館との連携）

滋賀県竜王町学校応援団

## ◆活動概要・目的

- 公民館長がパイプ役となり、地域の多様な経験や技能を持つ人材や公民館利用団体等と連携した学習支援や行事支援など様々な支援を実施。
- 公民館で学校支援にもつなげる分野の講座を開催し、地域ボランティアの人材確保と人材育成を図っている。



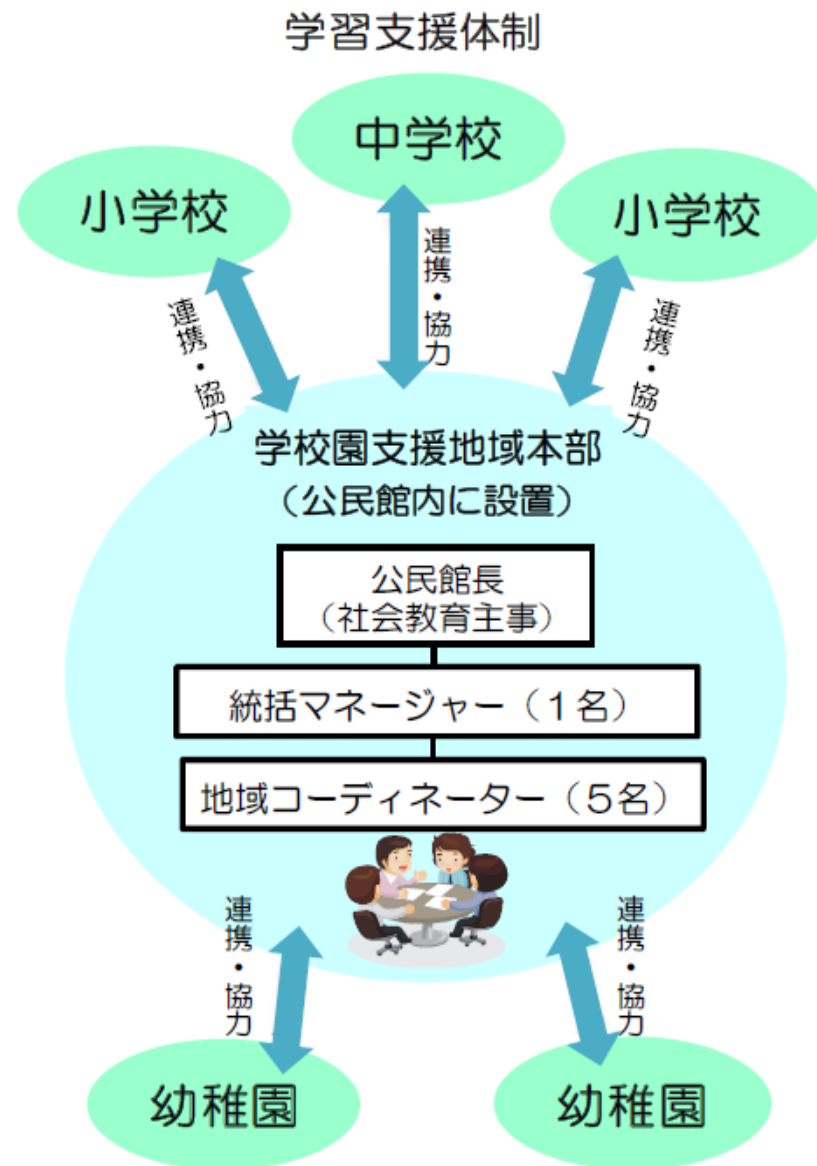
公民館で活躍している水墨画グループによる学習支援（竜王中学校1年生・美術）

## ◆活動における工夫・ポイント

統括マネージャーと地域コーディネーターが月に1～2回、学校、幼稚園からの依頼や要望の検討や、意見交換等を行う場として、「学校応援団定例会」を実施。

## ◆活動の成果

地域から学校への支援にとどまらず、地域ボランティアを幼稚園や小学校の感謝祭や収穫祭に招待するなど「学校から地域への交流活動」を実施。





# 地域学校協働活動の取組事例【広島県】



【放課後子供教室・地域未来塾】（庄原市）

## 教育プロジェクト事業 総領自治振興区子供事業

H28「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰

- ・住民参加による地域の教育力向上
- ・中学生への学習支援（放課後塾）



【学校支援活動】（北広島町）

## 千代田地域 学校支援連絡協議会

H28「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰

- ・家庭で育て 地域で鍛え 学校で磨く  
千代田っ子（スローガン）
- ・千代田っ子フェスティバルの開催



【地域未来塾（放課後子供教室）】（安芸高田市）

## 安芸高田市 無料公営塾 地域未来塾

（H29～）

- ・市内全小学校（13校）（5・6年生）で実施
- ・家庭学習支援コーディネーター  
（校長OB）の配置



【放課後子供教室】（神石高原町）

## ゆきキッズクラブ

H29「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰

- ・地域資源（特産物等）の活用
- ・公民館（協働支援センター）  
によるコーディネート



【地域学校協働基盤活動】（廿日市市）

## 地御前小学校区学校支援地域本部 地小っこ応援団

H29「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰

- ・校内に「ふれあいルーム」  
（本部事務局）を設置
- ・「ボランティアガイド」  
を活用した事前研修

全国の表彰事例等はこちらから↓

学び未来 表彰 検索

文部科学省WEBサイト  
「学校と地域でつくる学びの未来」

<http://manabi-mirai.mext.go.jp/>

参考URL

<http://manabi-mirai.mext.go.jp/exam/commendation.html>

# 「地域と連携・協働した活動」の様子【東広島市】①



田植え・稲刈り体験  
【竹仁小学校】



オオサンショウウオ保護活動  
豊栄町環境問題探検隊  
【豊栄小学校】



とんど・餅つき大会  
JICA地域交流事業  
【御園宇小学校】



町のお宝発見！（（株）サタケ）  
【寺西小学校】



# 「地域と連携・協働した活動」の様子【東広島市】②



通学合宿（小谷地域センター）  
【小谷小学校】



地域サロン・訪問  
【豊栄中学校】



乳幼児とのふれあい学習  
（安芸津児童館子どもの家）  
【安芸津中学校】



災害ボランティア活動  
（西日本7月豪雨）  
【安芸津中学校】



職場体験学習  
三幸食品（株）  
【安芸津中学校】

# 「放課後子供教室」の様子【東広島市】①



茶道



三ツ城自然クラブ



科学教室  
(広島大学メイプルみつつ)



ヒップホップダンス  
(広島大学リズムミックダンスクラブ)



英会話・国際交流  
(大学生ボランティア カモミールラマシカ)



親子ヨガ

三ツ城ワクワク広場(三ツ城コミュニティハウス)



# 「放課後子供教室」の様子【東広島市】②



リズム遊び  
吉川小学校区 吉川放課後子供教室



オセロ・将棋  
高美が丘小学校区 高美が丘つくしんぼクラブ



学習活動  
木谷小学校区 木谷放課後子供教室



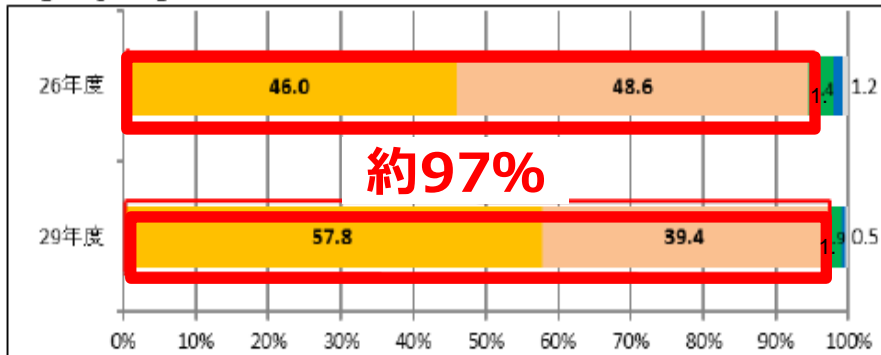
餅つき大会  
東志和小学校区 東志和やまびこクラブ

# 地域学校協働活動の効果（学校の教育水準，学力）

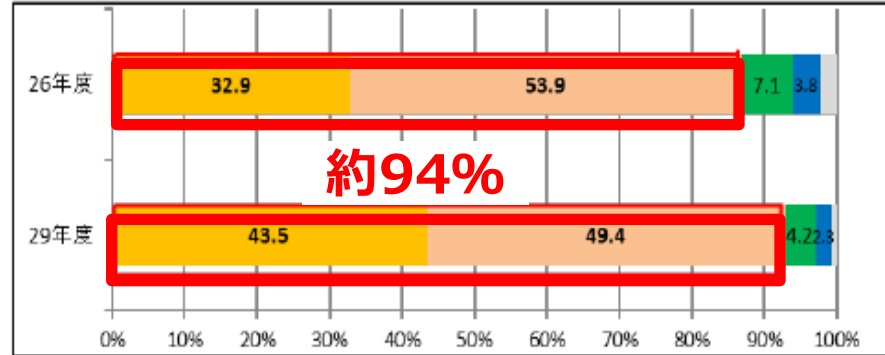
▶ 保護者や地域住民の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果があると思う学校は9割以上

■ そう思う   
 ■ どちらかといえば、そう思う   
 ■ どちらかといえば、そう思わない   
 ■ そう思わない   
 ■ その他、無回答

【小学校】



【中学校】



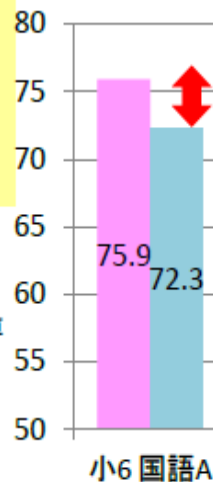
(平成29年度全国学力・学習状況調査 学校質問紙調査)

▶ 保護者や地域住民の学校支援ボランティア活動が進んでいる学校ほど学力が高い

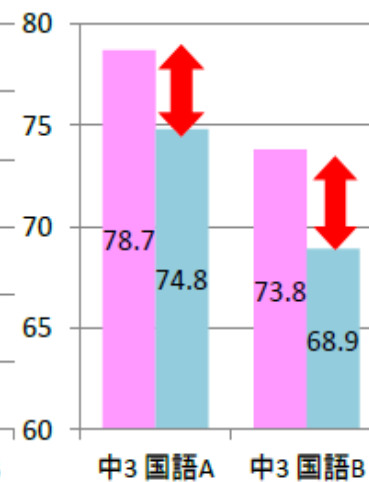
「地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子供たちの教育に関わってくれる人が多いと思うか」への回答と学力テストの正答率

■ そう思う   
 ■ そう思わない

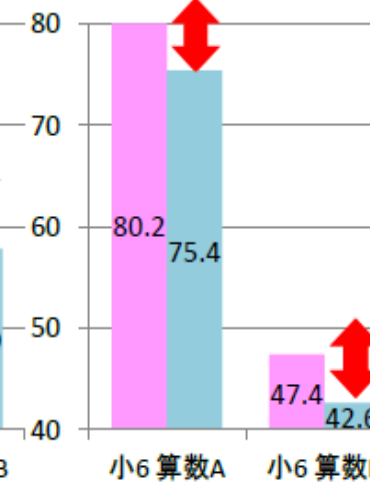
(正答率)



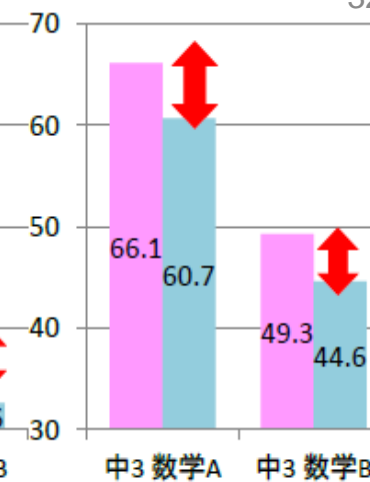
(正答率)



(正答率)



(正答率)

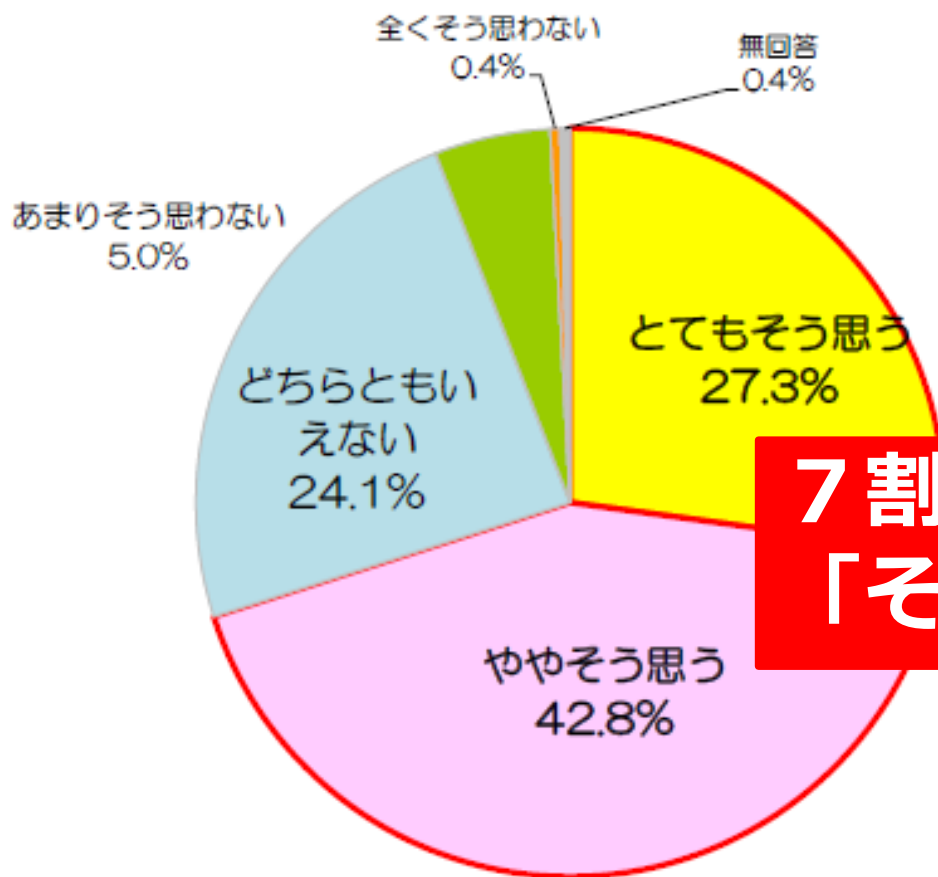


(平成29年度 学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究「保護者に対する調査の結果と学力等との関係の専門的な分析に関する調査研究」 国立大学法人お茶の水女子大学 平成30年3月)



# 地域学校協働活動の効果（教員）

- ▶ 地域住民が学校を支援することにより、教員が授業や生徒指導などにより力を注ぐことができた

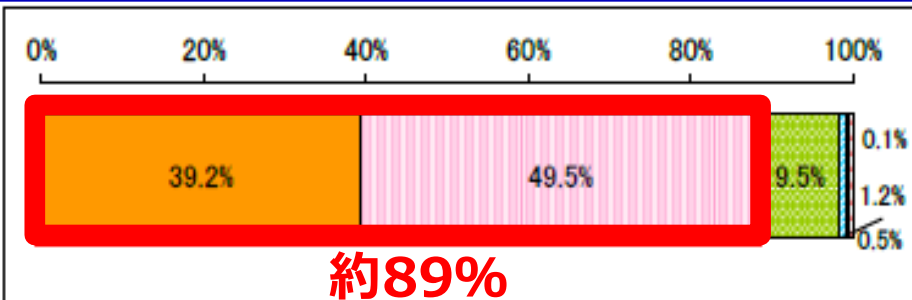


7割以上の学校が「そう思う」と回答

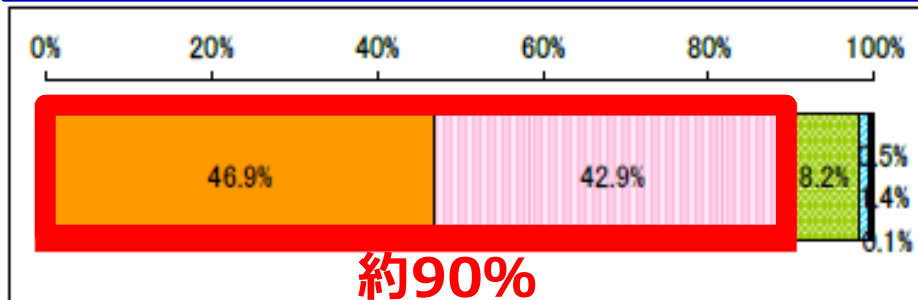
# 地域学校協働活動の効果（子供，地域住民）

## ●子供たちへの効果

▶実際に事業に参加してみて，子供たちが地域住民と交流することにより，様々な体験や経験の場が増え，**コミュニケーション能力の向上**につながった

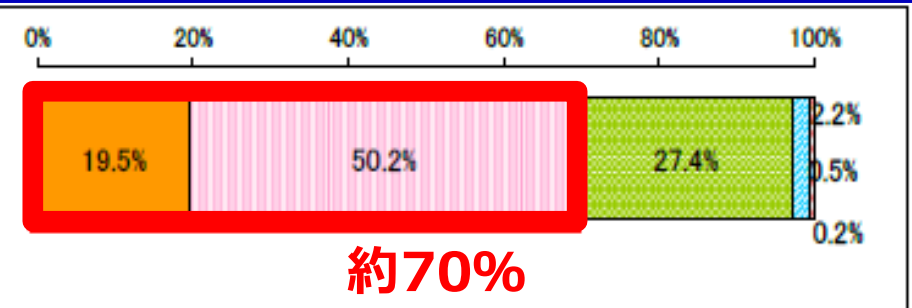


▶実際に事業に参加してみて，子供たちが地域住民と交流することにより，様々な体験や経験の場が増え，**地域への理解・関心**が深まった

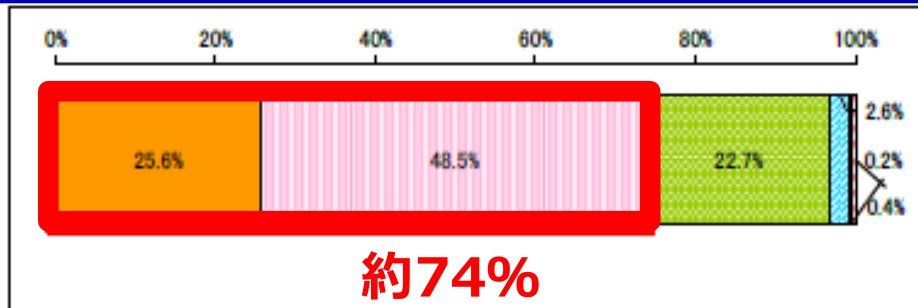


## ●地域への効果

▶実際に事業に参加してみて，地域住民が学校を支援することにより，**地域の教育力が向上し，地域の活性化**につながった



▶実際に事業に参加してみて，地域住民の**生きがいづくりや自己実現**につながった



とてもそう思う

ややそう思う

どちらともいえない

あまりそう思わない

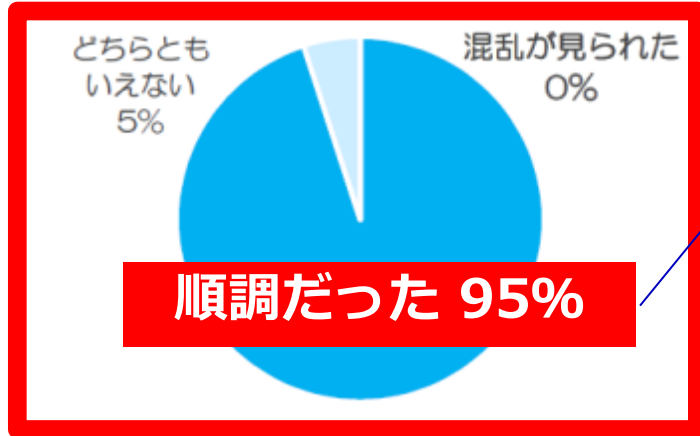
まったくそう思わない

無回答

# 地域学校協働活動の効果（震災時）

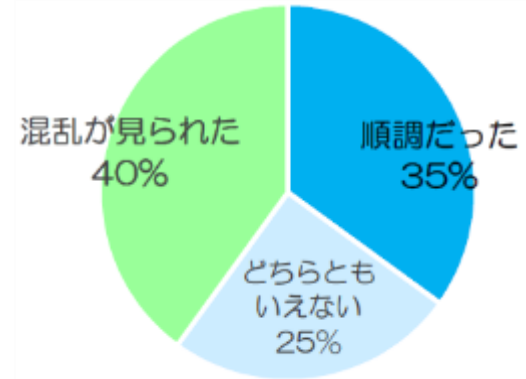
## ▶ 東日本大震災時，避難所において自治組織が立ち上がる過程は順調だったか

【学校支援地域本部**設置**20校】



地域の方から「避難所は私たちに任せて、先生は子供たちのことを考えて」という声があがり、自治組織が速やかに組織されたり、地域住民と日頃から接している子供たちが支援が必要な人に気づくなど、緊急時の分担と協働作業がスムーズに進んだそうです。

【学校支援地域本部**未設置**20校】



東日本大震災後の宮城県内の小中学校長40名へのアンケート調査 文部科学省調べ

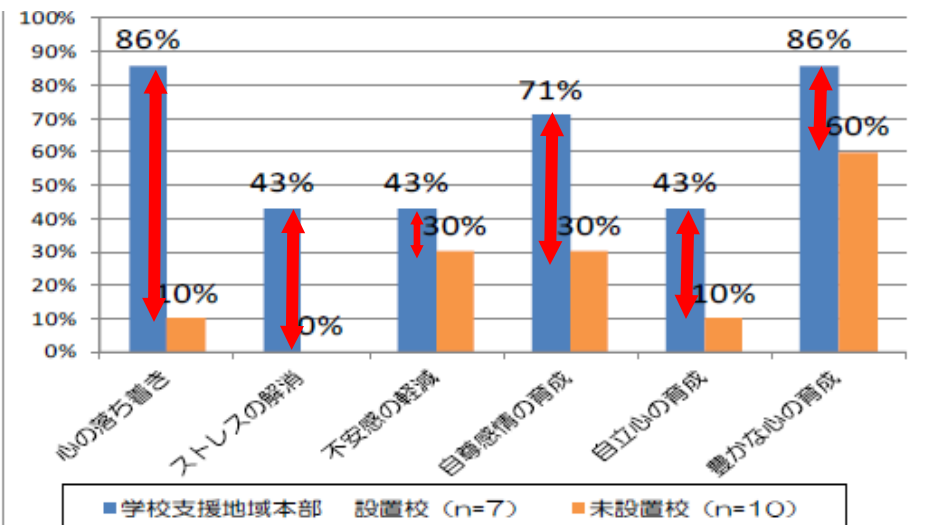
## ▶ 平成28年熊本地震における地域学校協働本部（学校支援地域本部）の設置による被災後の効果

▶ 学校支援地域本部設置校では、**地域住民，学校教職員，児童生徒の結束力**が高まっていたため、**避難所の運営がスムーズ**であったとの声を聞いている。

熊本県教育委員会へのヒアリング 文部科学省調べ

▶ 地震後の地域のボランティア等と連携・協働（学校支援活動）した取組で **子供たちに変化**が見られた

- ▶ 心の落ち着き
- ▶ 不安感の解消
- ▶ 自立心の育成
- ▶ ストレスの解消
- ▶ 自尊感情の育成
- ▶ 豊かな心の育成





# 地域学校協働活動推進事業【国】

補助率	
国	1/3
都道府県	1/3
市町村	1/3



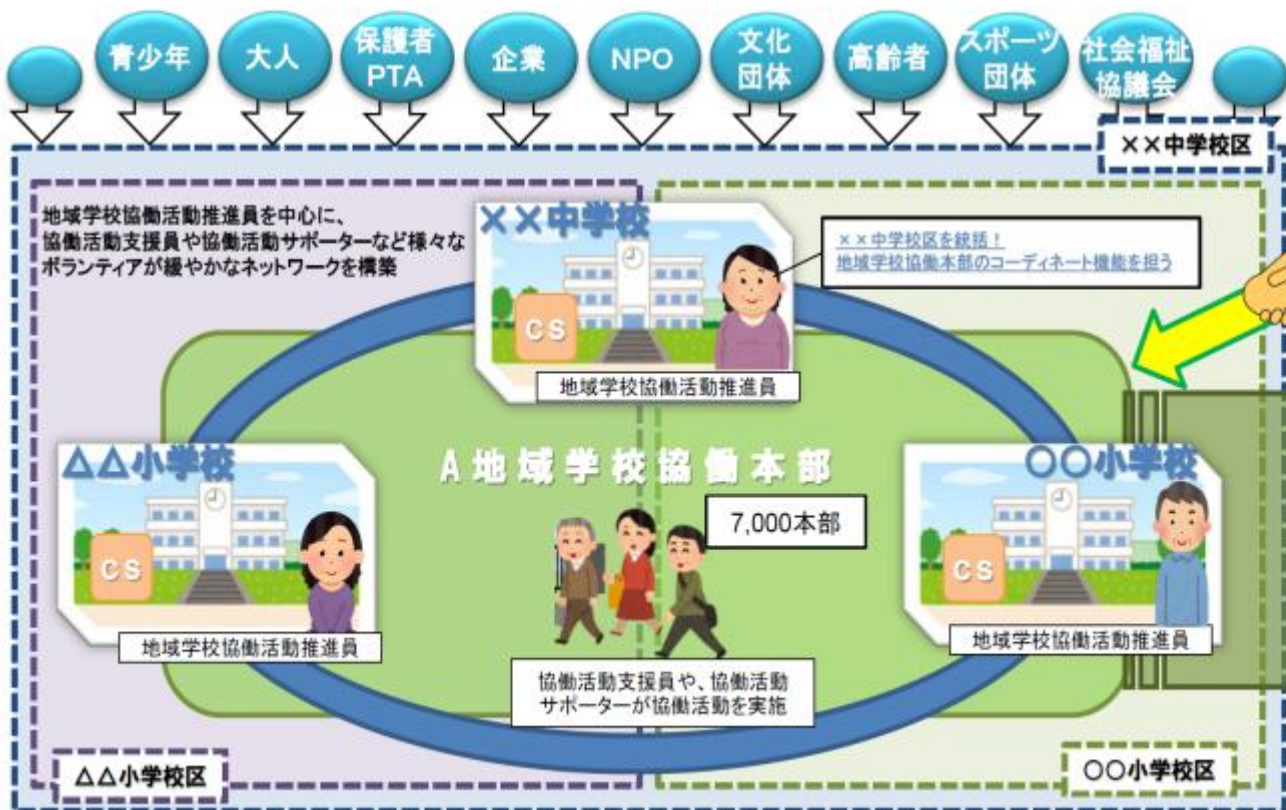
地域社会のつながりや支え合いの希薄化等による**地域の教育力の低下**や、学校が抱える課題の複雑化・困難化といった社会的課題の解決を目指すとともに、これからの社会の創り手となる子供たちに、社会や地域と向き合い関わり合いながら学ぶ機会を与える「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた基盤として、**地域と学校が連携・協働**し、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支えていく「**地域学校協働活動**」を積極的に推進していくことが必要。

## 目標

## 事業内容

2022年度までに全小中学校において幅広い地域住民や地域の多様な機関・団体等の参画を通じた地域学校協働活動の推進を図る。

幅広い地域住民や企業・団体等の参画により、子供たちの成長を支え、地域を創生する「**地域学校協働活動**」を推進する。  
そのため、地域と学校をつなぐ「**地域学校協働活動推進員**」を配置することにより、地域の実情に合わせた様々な地域学校協働活動の総合化、ネットワーク化を目指し、組織的で安定的に継続できる「**地域学校協働本部**」の整備を推進することにより、社会全体の教育力の向上及び地域の活性化を図る。



### 学校運営協議会 (コミュニティ・スクール)

学校運営・その運営に必要な支援に関する協議等(地教法第47条の6)を行い、委員には、保護者や地域住民の他、**地域学校協働活動推進員が任命される。**

## 地域学校協働活動

地域全体で未来を担う子供たちの成長を支え、地域を創生するための活動

- 地域ブランドづくり学習
- 防災学習
- ふるさと発見学習
- 放課後等の多様な体験・活動(放課後子供教室)
- 学習が困難な子供に対する学習支援活動(地域未来塾)
- 外部人材を活用した教育活動支援

# 地域学校協働活動推進事業【広島県】

地域全体で子供たちの成長を支えるため、地域と学校が連携・協働し、地域の教育力の向上及び地域の活性化を図る。

県

- 指導者研修会の実施 地域学校協働活動推進員やボランティア等の資質向上や情報交換等
- 大学生のボランティアチーム「ワクワク学び隊」の派遣 大学への協力依頼、学生チームの募集と登録、派遣
- 実践交流会の開催 地域や学校の実情に応じた特色・魅力ある活動の事例発表や意見交換等

## 地域学校協働活動

「地域学校協働活動推進員」等のコーディネートにより、地域と学校が協働して教育活動を実施

- ※ふるさと発見学習
- ※防災学習
- ※学校の環境整備 等

連携

## 学校運営協議会

(コミュニティ・スクール)

学校運営・その運営に必要な支援に関する協議

市町

## 地域未来塾

対象：すべての中学生、高校生

### 学習支援の場

地域住民の協力による、学習習慣の定着を目的とした学習支援

## 放課後子供教室

対象：すべての小学生

### 学び・体験・交流・遊びの場

- ・スポーツや文化活動等の体験活動
- ・地域の大人や異年齢の子供との交流
- ・予習や復習、補習等の学習活動

連携

放課後児童クラブ

要請

派遣

要請

派遣

## 大学生ボランティアチーム ワクワク学び隊

【ね ら い】 放課後子供教室等の活動内容を充実・活性化 ※大学生の社会貢献活動への参加を支援

【チームの構成】 県内の大学に在学している学生が複数人で構成

【活動内容】 実験、観察、工作、音楽、英会話、レクリエーション、学習支援 等





## 「地域学校協働活動推進事業」実施状況、「学校運営協議会」設置状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
地域学校協働本部 整備数 (地域学校協働活動実施数)	3,746本部 〔小学校:6,244校 中学校:2,814校〕	4,146本部 〔小学校:6,568校 中学校:3,039校〕	4,527本部 〔小学校:6,881校 中学校:3,148校〕	5,168本部 〔小学校:7,166校 中学校:3,469校〕	6,190本部 〔小学校:7,437校 中学校:3,632校〕
地域学校協働活動 推進員等数 *	16,346人	16,814人	18,105人	23,019人	23,931人
地域未来塾 実施数	—	1,751箇所	2,587箇所 〔中学校:2,439校 高等学校:148校〕	2,813箇所 〔中学校:2,646校 高等学校:167校〕	2,995箇所 〔中学校:2,820校 高等学校:175校〕
放課後子供教室 実施数	11,991教室	14,392教室	16,027教室	17,615教室	18,749教室
学校運営協議会 設置学校数(CS) (コミュニティ・スクール 導入学校数)	1,919校	2,389校	2,806校	3,600校	5,432校
実施市区町村数	本部 628市区町村 放課後 1,135市区町村 C S 187市区町村	本部 642市区町村 未来塾 322市区町村 放課後 1,077市区町村 C S 235市区町村	本部 669市区町村 未来塾 472市区町村 放課後 1,097市区町村 C S 285市区町村	本部 716市区町村 未来塾 515市区町村 放課後 1,098市区町村 C S 367市区町村	本部 772市区町村 未来塾 557市区町村 放課後 1,171市区町村 C S 532市区町村

※ 平成28年度までは「学校・家庭・地域の連携協力推進事業」及び「地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業」として実施

※ 岩手県、宮城県、福島県等の被災自治体は委託事業「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」等で実施

\* 平成28年度以前は地域コーディネーターのみ

# 本日の流れ

- 1 生涯学習とは
- 2 我が国が直面する未来
- 3 生涯学習を取り巻く新たな方向性
- 4 学校と地域の連携協働の推進について
- 5 家庭教育の支援について

# 「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プラン

全県的な乳幼児期の教育・保育の質の向上を図るため、  
「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランに基づいた家庭教育  
育や教育・保育施設への支援などの施策を展開し、本県が目指す  
乳幼児の姿の実現を目指す。

本県が目指す乳幼児の姿

## 「遊び 学び 育つひろしまっ子！」

感じる・気付く力

うごく力

考える力

やいぬく力

人とかかわる力

園・所等における教育・保育の充実

- ・ 教育・保育内容，教員，  
保育士等の研修の充実等
- ・ 幼・保・小連携教育の推進

家庭教育支援の充実

- ・ 子育てに役立つ情報の提供
- ・ 親子の学び・集いの場の推進
- ・ 地域による親子支援



# 「親の力」をまなびあう学習プログラム

P T A 研修会・学級懇談会・保護者会・入学説明会など…

“学校”と“保護者”をつなぐ様々な場面で活用できる

楽しく話し、聞いて納得する  
家庭教育支援の参加型学習プログラム



自分一人が悩んでいるのではないことが分かり、気持ちが軽くなりました

- ▶ 保護者同士の交流が深まります
- ▶ 子供の理解や学校理解につながります
- ▶ 懇談会等での話し合いが進みます

【中・高校生等の若い世代には】

- ▶ 主体的・対話的で深い学びが促進されます



PTA研修会



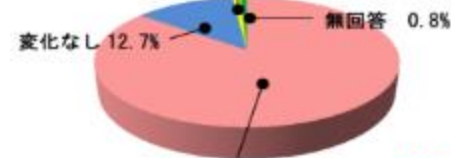
総合的な学習の時間

講師（ファシリテーター）を  
学校に派遣します

ファシリテーターが進行し、  
教職員に負担はかかりません

参加者の約 **86%** が子育ての不安が軽くなったと感じています！

子育ての不安や悩みに変化がありましたか？  
不安感が高まった又は大いに高まった 1.0%



安心感が大いに高まった又は高まった **85.6%**

# 「親プロ」の特徴（1）

## ●子育て段階に応じた学習プログラム

### ▶ 小学生～中学・高校生の親

小学1～3年生 の親	13	親子でやってみよう！ ～楽しい小学校生活を過ごすために～
	14	くらべないで！ ～同じ子供なんて一人もない～
	15	みなおして！ ～多様な視点から子供を見る～
小学4～6年生 の親	16	体と心の変化 ～子供の思い、親の戸惑い～
	17	どうする？ どういう？ ～子供の人間関係へのかかわり～
	18	さあ、どっち！？ ～信じる、見守る、待つ、聞く～
中学・高校生 の親	19	思い出してみても… ～私にもあった青春時代～
	20	キャッチボールは得意ですか？ ～気持ちをつたえる 胸の真ん中で受け止める～
	21	ほどよい距離感って？ ～子供の自立と親の自立～
多様化する 現代的課題	25	お父さんの子育てトーク！ ～「父親」の楽しみを持ち寄ろう～
	26	ケータイ！ウチではどうする？！ ～考えてみて、わが家流のつきあい方～
	27	向き合ってみて… ～「仕事」と「子育て」の調和のために～

【活用の場面】 新入生説明会，保護者会，PTA研修会，学級懇談会，地区懇談会，PTC等…

### ▶ 中学生・高校生等【生徒】

中学生・高校生等 の青少年	1	おぎゃーってスゴイ！ ～生まれてきた自分，やがて生まれてくる命～
	2	親しらず 子しらず ～親子関係を振り返る～
	3	おや！ おや？ ～自分のあゆみと親のかかわり～
	30	地域ぐるみで子育て！ ～親の立場で考えてみよう～
	31	あなたならどうする，どう考える？～親として，地域の一員として～

【活用の場面】 家庭科，総合的な学習の時間，特別活動，道徳等の授業，  
生徒会活動，ボランティア研修，保護者との交流事業，PTC等…



# 「親プロ」の特徴（2）

- 楽しく話し、聞いて納得する参加型

講演を聴くなどの  
従来の学習方法



参加者が  
“学びの主体”となる  
参加型学習方法

子育てを振り返り学びあう中で、  
「自ら気づき」「自ら学べる」力を！

★ このプログラムに「正解」はありません



# 「親プロ」の特徴（3）

## ● 身近なエピソードをもとにした内容

くらべないで！  
～同じ子供なんて一人もない～



親子でやってみよう！  
～楽しい小学校生活を過ごすために～



ケータイ！ウチではどうする？！  
～考えてみて、わが家流のつきあい方～



体と心の変化  
～子供の思い、親の戸惑い～



ほどよい距離感って？  
～子供の自立と親の自立～



さあ、どっち！？  
～信じる、見守る、待つ、聞く～

# 「親プロ」の流れ

寄って

うちとける（導入）



簡単なゲームを通じてリラックスした雰囲気

話して

話し合う



ワークシートに自分の思いを記入しグループで話し合います

自ら気づく

振り返る



話し合いの内容を振り返ります



# 「親プロ」の様子 (PTA研修会)

みなおして！  
～多様な視点から子供を見る～



年月日( )

寄って話して  
自ら気づく  
「親の力」をまなびあう学習プログラム

## みなおして！

～多様な視点から子供を見る～

イラストレーター ありん

小学校の生活にも少しずつ慣れ、まだまだ幼いと思っていた子供の世界は、  
家族を超えて広がり、さまざまな経験をするようになります。だんだんと親の  
側から離れていくわが子の姿に寂しさを感じることもあるかもしれませんが、  
子供の成長を喜び、自ら伸びようとしている姿をみつければ、しっかりと家庭をもう一  
げましょう。子供にとって心安らぐ居場所になっているかどうか家庭をもう一  
度見つめ直し、子供と一緒に親も成長していきたいものですね。

広島県教育委員会

【御園宇小学校】

# 「親プロ」の様子 (中学生)

地域ぐるみで子育て！  
— 子育てマップづくり —



【西条中学校】



【高美が丘中学校】



# 参加者の声

(講座実施後のアンケート結果から)

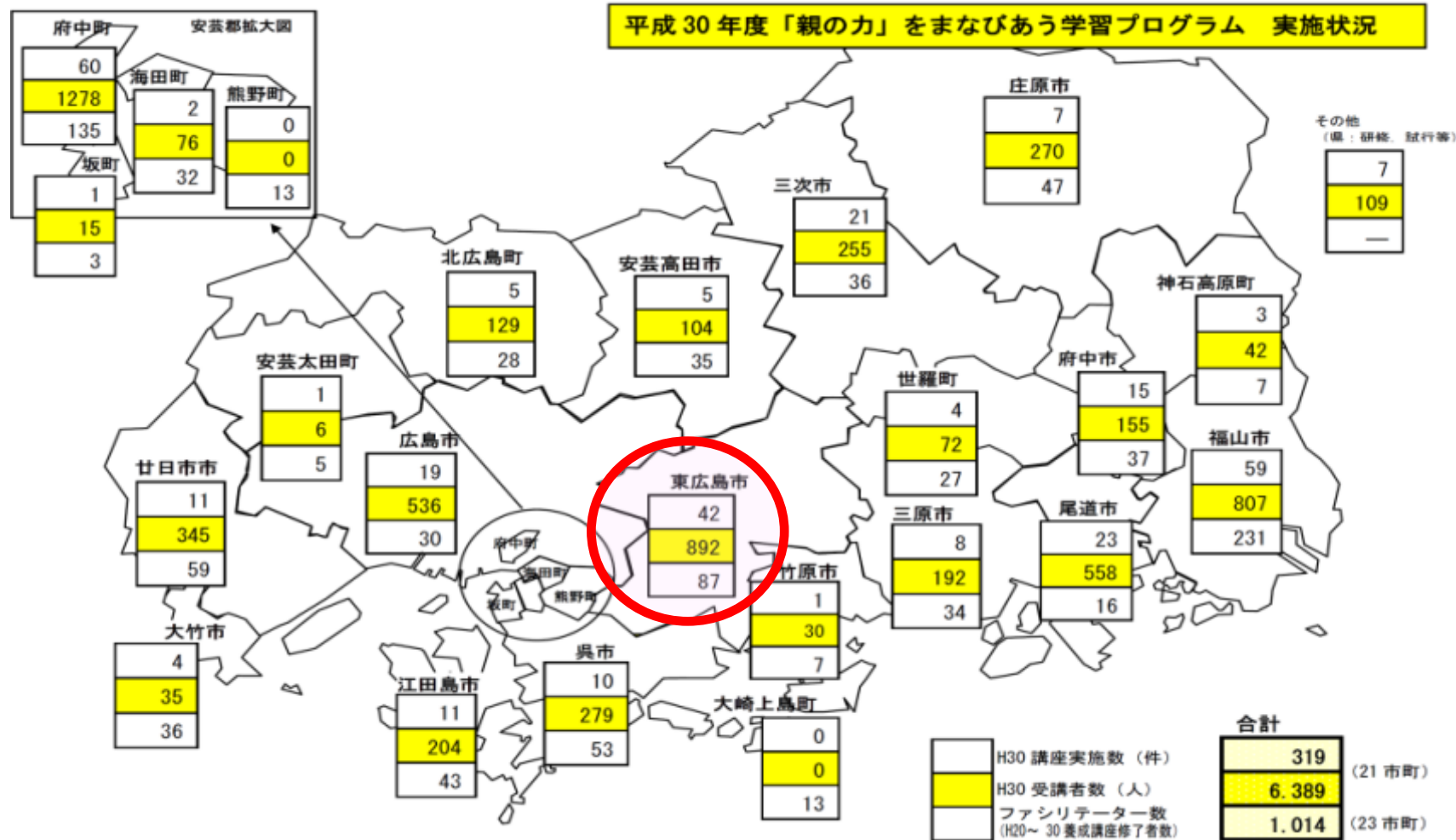
- 日々の生活のちょっとした場面に実は**ほめるポイント**がたくさんあることに気付きました。
  - **子育ての先輩の話**が聞いて**気持ちが楽**になりました。
- 【保護者】

- 自分の子育てを**客観的に見つめる**ことができました。
  - みんなで楽しく話をして、**リフレッシュ**できました。
- 【保護者】

- **自分が親や地域の一員**だったら何ができるか、何がしたいかなどたくさん話をしたり、**考えることができた**のでよかったです。
- 【中高生向けプログラムに参加した生徒】

- 生徒は**いつもとは違う表情で考えを交流**していました。とても内容の濃い教材で**様々な視点から考える**ことができました。
- 【中高生向けプログラムを実施した学校の教員】

# 「親プロ」実施状況（市町別）



- ▶ 県・市町の養成講座を修了された方（**6,389人**）が、ファシリテーターとして「親プロ」講座を進行します。
- ▶ これまでに**55,000人**以上の方が参加しています。

# おわりに

## 生涯学習

乳幼 小 中 高・・・青年 成人 高齢者



学び続ける

- ▶ 生涯にわたって主体的に学び続ける力の育成
- ▶ 学校・家庭・地域の連携と協働
- ▶ 社会に開かれた教育課程の実現

# おわりに

目の前の子供たちの生きていく世界は  
大きく変化をしようとしています

変化の激しい社会を生き抜くために  
どんな力が必要でしょうか？



学校・家庭・地域の連携と協働の中で  
子供たちの健やかな育みを実現

子供も大人も学び合い育ち合う教育体制の構築

**子供たちの未来のために！**